



ブラックバイトに どう立ち向かうか？

学生・大学・労働組合の取り組み

5.11.(水)
16～17 時

大学生のブラックバイト被害が深刻化しています。「辞められない」「自腹で商品を買わされた」「給料が払われない」。なかには留年・中退に追い込まれる被害学生もいます。そんななか、大学や労働組合、そして学生たち自身が、ブラックバイト被害をなくすために、様々な取り組みを始めています。この集会では、その実践を紹介し、ブラックバイト対策の今後を議論します。

会場：日比谷公園大音楽堂

東京メトロ霞ヶ関駅 B2 出口より徒歩 3 分・A5 出口より徒歩 4 分・C4 出口より徒歩 3 分 / 東京メトロ日比谷駅 A14 出口より徒歩 3 分、都営地下鉄三田線内幸町駅 A7 出口より徒歩 3 分

司会：

上西充子 法政大学キャリアデザイン学部教授

パネリスト：

石田輝正 連合非正規センター局長

今野晴貴 『ブラックバイト』（岩波新書）著者、NPO 法人 POSSE 代表

竹村和也 弁護士・日本労働弁護団事務局次長

坂倉昇平 ブラックバイトユニオン事務局長

早稲田大学の大学生 『ブラックバイト対処マニュアル』に編集協力
ブラックバイト被害にあった学生

主催：日本労働弁護団

参加費無料
(予約不要)